

2022年6月2日

プレスリリース

報道関係各位

一般財団法人日本ボクシングコミッションの継続決議に関するお知らせ

平素より、一般財団法人日本ボクシングコミッション（以下、「当財団」といいます。）の事業運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当財団につきましては、2022年3月31日に解散を決議し、清算法人として手続きを進めてまいりましたが、同年5月30日に評議員会による一般財団法人継続の決議（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第二百四条に基づく）を行いましたことを報告いたします。

当財団は、再建に向けて各有識者やボクシング業界関係者の方々とも協議を重ね、当財団の収益構造の改革およびガバナンスの改革について検討を行ってまいりました。併行して支援企業の探索・協議を行ってきた結果、今般、賛同頂いた企業からの寄付をもって純資産額が三百万円以上となったため、一般財団法人継続の決議を行いました。

当財団はこれまで、構造的な赤字状態や訴訟問題といった組織運営上の様々な課題を抱えておりました。今回を機に経営管理体制を真摯に見直すこととし、特にガバナンスに関しては監督機能の人心一新と強化を図ります。改革については、下記の通り中立公正な制度の導入や外部人材による理事の確保など、他のプロスポーツ団体の制度も参考にしながら刷新を行っていく予定です。

ボクシング業界をはじめ関係者の皆様には、当財団の解散により多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。一刻も早く皆様からの信頼を回復し、財団財政および経営管理体制を改善すべく、不退転の覚悟で臨んでまいります。

財団一同、今後も日本のプロフェッショナル・ボクシングが健全・公正なスポーツとして維持・発展できるよう貢献してまいります。今後とも変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

■当財団の概要

当財団は、公正なボクシング試合の運営を統括すべく、日本のボクシング界よりコミッション制度の導入が要請される中、1952年に設立されました。

「一国一コミッション」の理念のもと、プロボクシングの公式試合の管理・運営を目的とし、基本的事項をルールとして定めることにより、スポーツの健全な運営と発展を図るために存在しています。

■財務体質の改善に向けて

当財団の収入は、主に試合承認料、放送承認料、ライセンス料から構成されております。近年は試合数やボクサー数、プロテスト受講者数等の減少により、当財団の運営収支は慢性的な赤字構造に陥っておりました。また訴訟費用といった運営赤字以外の経費も大きな負担となっております。

今後は、一層の運営コストの見直しや訴訟等のトラブル回避のためのガバナンス構築を図るとともに、上記収入減の改善策等についても日本プロボクシング協会や関係者の方々と検討を進め、健全な財政を維持してまいります。

■ガバナンス改善に向けて

近年の訴訟結果を重く受け止め、再発を防ぐべく、当財団が行う業務や裁定に透明性及び公平性を担保する仕組みが必要であると認識しています。

検討中のものではございますが、方向性・施策として以下の3つを柱としております。

- ① 理事会等によるガバナンス機能の強化
- ② 事務局のコンプライアンスの推進
- ③ 他のプロスポーツ団体の制度を参考にした中立公正な制度の導入

①については外部人材も含めた役員体制によるバランスのとれた理事会構成を目指すとともに、その監督権限を強化することを想定しております。なお従来通り、評議員および理事、監事の役員についても定款に基づき、無報酬にて職務を行うこととします。

②については、内部統制システムや情報管理体制など、事務局職員による職務執行に関してコンプライアンスの質の向上を目指します。

③については、制裁処分の権限をもつ委員会の委員の構成の見直しや、その制裁処分に対する不服申立ての制度などを新設することを想定しております。

■JBC 新役員等

一般財団法人日本ボクシングコミッション役員

- 理事長 萩原 実（株式会社東京ドーム顧問）
- 理事 成富 毅（一般財団法人日本ボクシングコミッション本部事務局長）
- 理事 野中 雄一郎（東京慈恵医科大学付属病院小児脳神経外科診療部長）
- 理事 中村 勝彦（一般財団法人日本ボクシングコミッション試合役員会会長）
- 理事 小林 昭司（日本プロボクシング協会協会長）
- 理事 東 信男（中日本ボクシング協会協会長）
- 理事 山下 正人（西日本ボクシング協会協会長）
- 監事 菊地 裕太郎（菊地綜合法律事務所 所長 弁護士）
- 監事 鴉田 隆司（株式会社東京ドーム代表取締役専務執行役員）

一般財団法人日本ボクシングコミッション評議員

- 評議員会議長 北原 義一（株式会社東京ドーム代表取締役会長 CEO）
- 評議員 原田 政彦（日本プロボクシング協会終身名誉会長）
- 評議員 高橋 功（東京都中小企業団体中央会特別顧問）

一般財団法人日本ボクシングコミッション

- コミッショナー 長岡 勤（株式会社東京ドーム代表取締役社長 COO）

以上

一般財団法人 日本ボクシングコミッション